

令和7年度 第3回 長井市子ども・子育て会議

会議録

日時： 令和8年1月27日(火)午後6時～午後7時30分

場所： 長井市役所2階 庁議室

出席者： 元木委員、和田委員、小林委員、大場委員、齋藤委員、横山委員、小野委員、鈴木真紀委員、大峽委員、奥井委員、佐藤委員、竹田委員、青木委員、平委員、鈴木辰典委員、松澤委員

事務局： 総務参事(総括)(兼)地域づくり推進課長、産業参事(兼)商工振興課長、市民課長、健康スポーツ課健康推進担当課長、福祉あんしん課長、建設課長、厚生参事(兼)福祉事務所長(兼)子育て推進課長、子育て推進課補佐、子育て支援主査(兼)子育て支援係長、子ども家庭係長

欠席者： 菊地委員、荒井委員、総合政策課長教育委員会学校教育課長

1 開会

2 あいさつ

青木会長

梅津参事

3 協議

議長：青木会長

(1)長井市こども計画 素案について

① 前回会議からの体系図の変更案について

② こども計画(案)第1章～第3章について

資料1、資料2に沿って事務局から説明。

議長：はい、説明いただきました。ご意見、質問等がある方は挙手でお願いします。よろしいですか。最後にまた質問の時間を設けたいと思いますので、その時に発言いただければと思います。よろしくをお願いします。なお、①、②につきましては承認ということにさせていただきたいと思います。それでは③に移ります。こども計画(案)というようなことで、第4章についてご説明をお願いします。

③ こども計画(案)第4章について

資料2に沿って事務局から説明。

議長：皆さんからご意見、ご質問を頂戴したいと思います。ありませんか。無いとすれば、最終的に一括して質問を承りたいと思いますので、次の方に進ませていただきます。④成果指標について説明をお願いします。

④ 成果指標について

資料4に沿って事務局から説明。

- 議長：はい。ただいまの成果指標について、案ということで提示されました。皆さんの方からご意見、ご質問等を賜りたいと思います。
- 委員：はい。最初の方の説明で、第三期長井市子ども・子育て支援事業計画というのが、令和7年度からスタートして、それを包括した形で今回の計画だとお聞きしました。第三期長井市子ども・子育て支援事業計画の中でも目標とする成果指標というのが、おそらくあると思うのですが、新しくこの項目が追加されたのか、もともとの令和7年度からスタートしている第三期計画の中での成果指標との兼ね合いを教えてくださいたいと思います。
- 事務局：はい。ご説明させていただきます。第三期子ども・子育て支援事業計画の中では、成果指標という形では設けてはおりませんでした。第三期子ども・子育て支援事業は、この後第5章でご説明させていただきますが、保育施設やその他の子ども・子育て支援事業のニーズ量と、それに対してどのぐらい定員を確保する予定なのかというところを数字として示しておりました。資料4でご提示している成果指標という形ではなく、量の見込みと確保策ということで掲げておりました。今回はこども計画になるということで、何を何%までという形で設定したいと考えております。
- 委員：はい。わかりました。ありがとうございました。
- 議長：他にございませんか。
- 委員：資料4の中で、目標数値と期間がありますよね。計画は令和11年までとなっており、成果指標の5番、6番の項目については令和10年、他は令和11年までとなっています。ここは何か意味があるか、教えてくださいたいと思います。
- 事務局：はい。説明が不足しており申し訳ありません。5番と6番の目標に関しましては、右側の備考に書いておりますが、令和5年の子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査の結果を反映した中身になっております。このニーズ調査は、毎年、毎年ではなく5年に1回のアンケート調査となっております。前は令和5年に実施しましたので、次は令和10年にしたいと考えており、令和10年となっております。以上です。
- 議長：委員お願いします。
- 委員：まず、前回の会議の意見や質問を反映して、本当に膨大な資料をまとめていただき、本当にありがとうございます。成果指標のところちょっとお聞きしたいのですが、目標値「上昇」というのが結構多いのですが、例えば、3番の「今、自分が幸せだと思うこども若者の割合」についてよく見てみると「どちらかと言えばそう思う」というパーセンテージの方がすごく多いですよ。それで「どちらかと言えば」も合わせればこういう高い数字になっているとか、たくさんあるのですが、それだけで比べるのではなくて、「本当にそう思う」とか、当てはまると自信を持っていえるようなところのパーセンテージを比較していく必要も私はあるのでないかなと思います。いろんなアンケートしたときに、学校の評価アンケートもそうですが、そういうところで見えていく必要はないのかなというところをお聞きしたいと思います。
- 事務局：大変お待たせいたしました。こちらのアンケートは、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」で、回答をいただいているものです。選択肢全体で見た時に「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を少しずつ増やしていきたいという思いもあり、このように設定しております。「そう思う」の部分だけを増やしていった方がいいかどうかというところについては、ぜひ皆さんのご意見をいただければと思います。
- 事務局：補足です。委員がおっしゃるのは、本当のご意見だと思います。ただ私どもとし

ましては、幸せと思わないこどもの数を減らすということも考えてございます。
「どちらかといえばそう思わない」、または「そう思わない」というこどもの数を減らしていきたいというような気持ちもございまして、今回こういった指標を使っています。なお、その部分も含めて皆様からご意見を頂戴できればと思いますのでよろしくお願いいたします。

議長：はい、それではただいまのご意見に対しまして、皆さんの方からご意見を頂戴したいと思います。順番でよろしいですか。

委員：ちょっとよろしいでしょうか。そんなつもりで私が質問したのではないのですが、例えばもうこれ以上数値がなかなか上がらないような高いパーセンテージを示している現状値があるわけですね。そういうところについては、ぜひそこだけでも「「そう思う」とか、「当てはまる」というパーセンテージがこんなに増えています」ということも見ていったらいいのかなと思っただけですので、その点は誤解いただかないようにと思います。

議長：委員の方からお話が合ったわけですが、そういう見方、そういうところをやっぱり事務局がきちっと資料として持っているのであれば、私はこのままでいいのかなと思います。事務局からもお話がありましたように、そうでないものをいくらかでも減らしていく、そうあって欲しいというのをやっぱり幾らかでも伸ばしていくということで設定すべきだろうと思います。皆さんよろしいですか。そういう方向ですので、よろしくお願いいたします。他にございませんか。

委員：はい。婚活支援事業と記載がありますが、それはどのような形でされていますか。わからないので教えていただきたいと思います。

事務局：はい、こちらの資料につきましては、長井市の方で婚活の事務局をもっておまして、その中で様々な婚活イベントを開催したり、お見合いを開いたりしています。そういった活動の中で、成婚なされた方の数という形で記載しているものがございます。

委員：市報に載っていますか。

事務局：はい。イベントについては、広く募集する場合は市報、その他SNS等を使って周知しております。こういった婚活支援の活動をしていますというようなことで、市報等に載せてございます、以上です。

議長：委員よろしいですか。

委員：長井市に企業があれば、そこにいろんな人が就業して、出会っていうのもあるわけですが、企業がなければ、昔と比べて出会いの場があるのだろうかということがすごく心配になってきているので、そういう場をいろいろと設定していただけたらなと思っています。出会いがあって結婚なので、出会いの場を多く持ってもらいたいなと願っております。以上です。

議長：要望ということでよろしいですか。この相談員の方もイベントなり、その辺のところをうまくしていただければということで。

事務局：ちょっと回答というか、答えさせていただきたいと思います。婚活関係のイベント等の開催につきましては、長井市単独でする場合もございますけれども、市内だけですと人が集まらないというようなこともございまして、山形県と協力したり、南陽市さんや飯豊町さんとも協力しながらイベントを開催するというようなことで、機会の創出に努めてございます。また婚活するにあたってのセミナーなど、例えば、服装カラーの図を見て、自分をよく見せようとかいうようなイベント、セミナーも考えながら進めてございますので、今後とも引き続き活動を進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

委員：ありがとうございます。

委員：はい。すいません。成果指標のところなのですが、安心して産み育てられる環境づくりのところ、この縦長のA3の体系図の(2)子育てに関する情報提供の充実、この中ですくすく子育て応援アプリというのがあります。登録数はたぶん

分かると思います。登録者数を増やすというのはわかりやすい成果指標の一つになると思うのですがいかがでしょうか。

事務局 : 委員からご指摘あったように数値として見るのは、比較しやすいのですが、現在も結構高い確率で入っていただいております。なおかつ、少子化の関係があり、対象が主に未就学児の保護者さんということがあって、なかなかその伸びを持っていくことは現実的に厳しいかなと考えております。

議長 : よろしいですか。他にございませんか。

委員 : 今、少子化の流れがあって登録者数の伸びを想定するのは難しいとおっしゃったのですが、9番と10番、妊婦歯科健診受診率、産後ケア事業率の利用率っていうところに関しても、今後どんどん少子化が進んで全国的に進んでいくことを考えると、なかなか高い数字だなと思います。ただ、歯科検診、歯周病健診というところに関しては、切迫早産や早産に繋がるリスクが高いところですので、長井市あげてそこは頑張っていくということであれば、この数字はありだと思います。こども大綱や全国的な目標値があって、そこから長井市の現状と比較してこの数字なのか、今の61%より上昇させて65%っていうイメージなのか、お聞きしたいと思います。また、プレコンセプションケアのところの講演回数も、今はゼロ回のところが令和11年で年間5回とされています。16番婚活支援事業のように累計で5回ならイメージがつくのですが、年間5回というと本当にできるのかなと思います。誰を対象にして、誰がそれを伝えるのかなっていうところまで、はっきりしたビジョンがあればお聞きしたいなと思います。

事務局 : 最初に妊婦歯科検診等産後ケア事業についてですけども、妊婦向け歯科検診の方は、目標として30%ということで、国の目標、現状値が国30.3%で、目標としては増加ということであげております。それと比べると長井市はとても高い状況にあります。妊婦歯科検診、歯科検診の料金を助成してお勧めしている関係もありまして、高い状況かと考えているところです。それを少しでも増やしていきたいということで考えておりますので、数値を上げさせています。産後ケアの方も、やはり現状が22%ですので、それもできるだけ周知して、気軽に使っていただけるようになればいいなということで考えており、少し上げているような目標設定をさせていただいております。プレコンセプションケアについての講演会については、指標には挙げさせていただいたのですが、イメージ的には講話ということで、すごく大勢の中で、大勢の方にお話するというよりも、少人数の方にお話しするようなイメージで挙げております。例えば就学前の園児たちやその保護者の方にまずお話を聞いていただければいいなということで、5回ぐらいできるのではないかとことから上げております。以上でございます。

委員 : ありがとうございます。歯科健診は、全国平均よりも高い数値をっていうところを教えてくださいましたので大変わかりやすかったなと思っています。プレコンのことに关しましても、講話という形で年間回ってというところを想定しているっていうお話でしたので、それでしたら数字を達成できるのかなと思いました。乳幼児を対象にということでしたので、プレセプションケアっていうものの概念を非常に大きくとらえたところで、小さいうちからやっていくっていうところなのだと思いますので、ぜひ私もかかわらせていただければなと思います。

議長 : 他にございませんか。なければ、成果指標について皆さんからご承認いただけますでしょうか。はい。ありがとうございます。それでは続きまして、⑤こども計画(案)第5章について説明をお願いします。

⑤ こども計画(案)第5章について

資料3に沿って事務局から説明。

議長 : 本計画案の概要等について説明が終了しました。皆さんの方からご意見ご質問等

ございませんでしょうか。なければ次に進ませていただいてよろしいですか。それでは進ませていただきます。(2) こども計画策定に係る今後のスケジュールについて説明をお願いします。

(2)こども計画策定に係る今後のスケジュールについて

資料5に沿って事務局から説明。

議 長 : 皆さんの方からご質問等ございませんでしょうか。なければ、このようなスケジュールで進めていただきたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

(3)乳児等通園支援事業について

議 長 : 乳児等通園支援事業について、意見聴取が必要ということで、長井市については、子ども・子育て会議の意見を聴取したいということです。皆さんからご意見をいただくことになると思いますので、よろしくお願いします。皆さんの方から質問、ご意見等ございませんでしょうか。最後になりますが、本日の会議の中で言い忘れたとか、このところ質問したいというところがあれば、挙手をお願いします。ございませんでしょうか。なければ、本日の会議で今回提案がありました素案についてご承認ということでよろしいですか、ありがとうございます。それでは承認されたということでよろしく願いいたします。では、その他ということですが、事務局の方から何かございますか。

(4)その他

事務局 : 事務局からは特にございません。

議 長 : それでは協議の方、これで終了ということでお返しさせていただきます。

4 その他

特になし

5 閉会